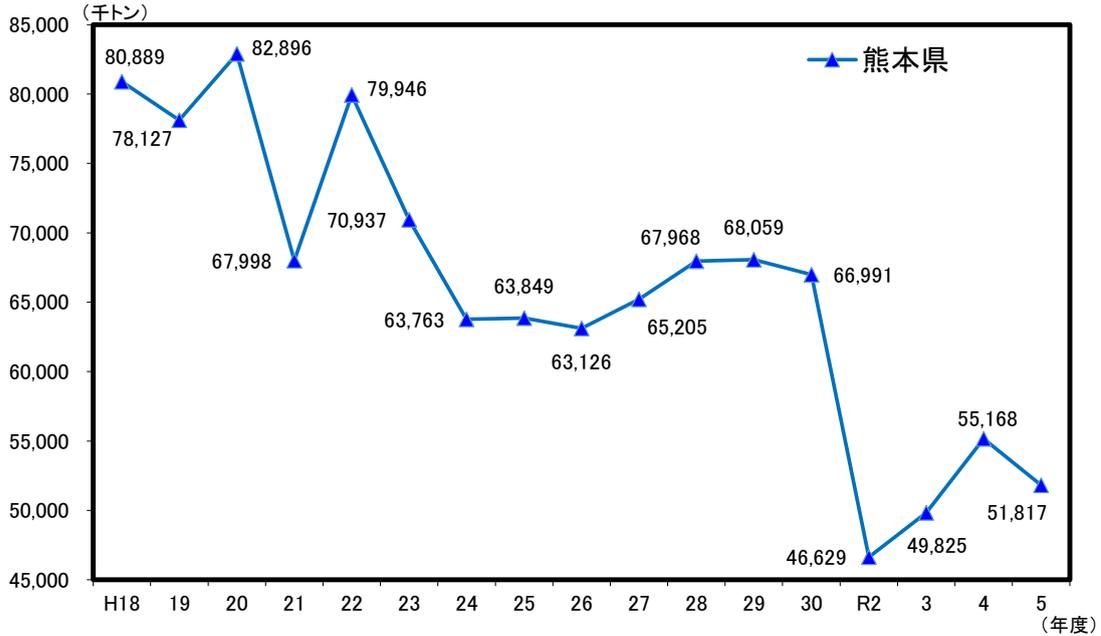


## 熊本県の自動車貨物輸送量の推移



### 解 説

#### 【概要】

令和5年度の県内自動車旅客輸送人員は4,095万人で全国の50億917万人の0.8%を占めた。

また、令和5年度の自動車貨物輸送トン数は5,182万トンで全国37億8,050万トンの1.4%を占めた。

本県の自動車貨物輸送量の推移をみると、平成20年度には8,290万トンであったが、その後は減少傾向にあり、令和2年度には4,663万トンにまで減少した。令和3年度からは一時増加に転じたものの、令和5年度には再び減少した。

#### ○自動車旅客輸送人員

都道府県別輸送量は、「自動車輸送統計年報」の地方運輸局別輸送量を、運輸支局別登録自動車数の比率（各年度末）により推計したものである。ただし貨物自動車及び軽自動車の分は含まない。

#### ○自動車貨物輸送量

都道府県別輸送量は、「自動車輸送統計年報」の地方運輸局別輸送量を、運輸支局別登録自動車数の比率（各年度末）により推計したものである。ただし、特殊用途車を含み、軽自動車は含まない。

#### ○一人当たり自動車貨物輸送量

自動車貨物輸送量 ÷ (総務省統計局「人口推計」に基づく各年10月1日現在人口)

#### ○普通倉庫

法律上の分類による一類、二類、三類、野積、貯蔵槽、危険品倉庫。

資料出所	調査期日	調査周期
*1、*2、*3「自動車輸送統計年報」 国土交通省 *4「倉庫統計季報」 国土交通省	令和5年度 令和4年度	毎年